

水辺活動

プログラム名	いかだ遊び			
概要	グループで協力していかだを作り、浜名湖に浮かべる。浜名湖の自然を感じる。			
ねらい	協力・工夫し作ることで、協調性や創造性を高めることができる。浜名湖の良さや水に親しむ体験ができる。			
条件	対象	小学4年生以上	人数（指導者人数）	～80人（6人以上）
	活動目安時間	150分程度	活動時期	6月～10月
	活動場所	マリーナ広場、ハーバー	費用	不要
	下見	要	活動名簿提出	要
持ち物・準備	（個人）軍手、ゴーグル、タオル、着替え、濡れてもよい服（長袖・長ズボン・下着として水着可）、飲料 帽子→作業時・水泳帽→入水時、濡れてもよい靴、日焼け止め（必要に応じて） （貸出）ライフジャケット、いかだの材料			
安全上の留意点 （対策方法）	熱中症・脱水症状・体の冷え（適度な休憩や水分補給、帽子着用の徹底） 貝殻、漂流物でのケガ（靴・軍手の着用、浅場で腹ばいにならない、腰より低い水位で乗降をしない） スロープでの転倒（水際は苔で滑りやすいと注意喚起、ゆっくり1歩ずつ姿勢を低くして歩く） 板材・タイヤチューブでの切傷（軍手着用の徹底、板材ささくれ・チューブ空気口の注意喚起） 毒のある生き物やカニによるケガ（事前の注意喚起、危険な生物を見つけたら指導者に報告） 溺水（ライフジャケット着用の徹底）			
活動内容（手順） 事 前①指導者配置の決定：所定の「活動プログラム時の引率指導者の役割分担表」を作成、提出 ②グループ編成：全体40人で8人1グループが好ましい。（ローテーションの場合、全体80人で16人1グループ） グループ内でパティ（2人組）を決定（体調確認、点呼を常にパティでする） ③下見の実施：ハーバー内、危険箇所の把握 ④実施方法の決定：活動内容や時間・休憩時間の設定 ⑤研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」、入水すること、スロープ内が滑りやすいことを周知				
活動前①打合せ（活動10分前）：事務室前で所員と引率責任者・担当指導者と実施 実施判断：気象を基に、協議の上、決定 確認事項：人数、グループ、グループ内のパティ、体調確認、配慮事項、服装、活動手順				
活 動①指導：所員より、いかだの材料の説明→艇庫内の材料を取りに行く→それぞれの作業場所に持って行く ②活動開始：いかだ作り→準備運動→ライフジャケットの着用→いかだ乗り体験→着替え・材料の片付け（真水で洗って干す） ③まとめ ④振り返り：活動の感想を発表 ⑤確認事項：人数、体調 ⑥片付け：備品の返却、活動場所の原状復帰と清掃				

<その他>

※実施については当日の天候・気温・水温・風速・風向などによって決定する。

※スロープ、ハーバー内は必ずライフジャケットを着用する。



赤クラゲ



オコゼ



アカエイ

・毒のある生き物として、主に、赤クラゲ・オコゼ・アカエイが挙げられる。

◆赤クラゲに刺されたときは…海水で患部を洗う→ゴム手袋をつけ、ピンセットで触手を取り除く→医療機関へ

◆オコゼに刺されたときは…棘を抜く→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

◆アカエイに刺されたときは…患部を洗う→毒針を抜き毒を絞り出す→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ